



2024年4月26日

各位

会社名株式会社 A i m i n g
代表者名代表取締役社長 椎葉 忠志
(コード番号: 3911 東証グロース)
問合せ先取締役 経営管理部 田村 紀貴
ディビジョンディレクター
(E-mail: ir@aiming-inc.com)

2024年12月期第1四半期連結業績予想と実績との差異に関するお知らせ

当社は、2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期第1四半期（2024年1月1日～2024年3月31日）の連結業績予想と実績を比較し、下記の通り差異が生じたので、お知らせいたします。

記

1. 2024年12月期第1四半期（2024年1月1日～2024年3月31日）の連結業績予想と実績の差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円				円 銭
予想値 (A)	4,841	△213	△177	△425	△10.59
実績値 (B)	4,607	△149	△42	△346	△8.26
増減額 (B - A)	△234	63	135	79	—
増減率 (%)	△4.8%	—	—	—	—
(参考) 前年同四半期実績 (2023年12月期第1四半期)	5,158	576	626	218	5.46

2. 差異の理由

2024年2月14日公表の2024年12月期第1四半期（2024年1月1日～2024年3月31日）の連結業績予想は、売上高においては、前連結会計年度第4四半期に多くの既存タイトルで周年イベントがあり、加えてクリスマスや年末イベントがあることから反動による減少が見込まれるものの、『ドラゴンクエストタクト』の3.5周年イベントがあることから、全社での売上高は増加する見込みとしました。また、費用面においては、前四半期に計上した『ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか バトル・クロニクル（以下「ダンクロ」）』のコンテンツ評価損失があったため、費用は減少する見込みとしました。その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前四半期比（2023年12月期第4四半期親会社株主に帰属する四半期純損失1,117百万円）で増益予想（2024年12月期第1四半期親会社株主に帰属する四半期

純損失 425 百万円) としておりました。

この度、2024 年 12 月期第 1 四半期において、連結予想値と実績値の差異が生じたのは、『陰の実力者になりたくて！マスターオブガーデン』が予想値に対して好調だったものの、『ドラゴンクエストタクト』や『ダンクロ』が予想値より下回ったことにより売上高が未達となった一方で、売上高に伴う変動費の減少に加え、人件費や広告宣伝費を抑制したためであります。

このため、売上高は予想値に対して 234 百万円下回ったものの、営業利益は 63 百万円、経常利益は 135 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 79 百万円それぞれ上回ることとなりました。

以上